

資料2

新プール・体育館棟改築への要望事項について

要望項目		設計への反映	理由
1 体育館			
	エキスパンション・ジョイント部分の小さな倉庫には扉をつけない		
	2階のホール上部吹き抜け部分及び防災倉庫上部に更衣室等を使用目途としたスペースを設ける。		
2 プール部分			
	日除けの幅 1 m 1.35mへ	×	日影から 1 m で十分と思われる。
	プールサイド倉庫 11.6 m ² は小さいので床面積の増	微増	内部に収納棚設置で十分収納可能と思われる。永福南プール倉庫(15 m ²)の現在収納状況は 20%未満
3 特別教室棟			
	各室の配置は東側からラーニングセンター、学校支援本部室、メモリアルホール、PTA 室とする。		
	学校支援本部室、PTA 室は外部から直接出入可能とする。		
	図書準備室の設置、学校支援本部室と図書準備室との相互出入可		
	給湯室の設置		PTA 室、支援本部室にそれぞれミニキッチン設置
4 新プール体育館棟と本校舎棟の接続			
	1階・2階部分共に本校舎棟と接続させる。	×	本校舎棟は平成 15 年耐震補強済、評定済であるため、外壁を抜くことは耐震構造上問題あり。 接続させ一体化した場合、体育館棟 2階部分の更衣室(フリースペース)は

				設置できない。
		接続する部分を児童が通行する際に雨風に直接さらされないようにする。		接続部分約 120 m ² は広場とし、すべて屋根で覆う。広場化することにより、イベント時等の多目的利用が可能になる。
5 屋上水田ユニット				
		5月～9月の屋上部分における日照条件により、設置の有無を判断	事務局提案 水田は現プール跡地部分を整地し設置する。	屋上西側にはエアコン室外機を設置する案だったが、室外機が北側及び西側隣地に近すぎるため騒音問題を惹起する。 現プール跡地に水田設置の場合、屋上設置より広い面積の水田設置可能。 トプライトの増設により、1階ラーニングセンターの採光確保が容易になる。 特別教室棟の屋上部分は原則立ち入らない場所になるため、管理上の安全確保はしやすい。
6 学校防災倉庫				
		学校防災倉庫は別棟設置とし、図の学校防災倉庫部分にはメモリアルホールなどを配置。	×	被災者が収容される体育館アリーナから雨風にさらされず、毛布・食糧品を取りにいけるメリットがあるため、近年改築となった学校は、すべて校舎・体育館棟等と一体設置。(天沼小、荻窪小、高井戸小、方南小、松溪中、井草中)